

- 一、中医推拿療法の臨床診察法——「舌診（ぜっしん）」
- 二、推拿健康法——便秘の改善と予防
- 三、めまい症の改善における中医推拿療法の応用
- 四、推拿療法の基本手技の復習（その3）
- 五、推拿練功の紹介——「順水推舟（しゅん すい すい しゅう）」

一、中医推拿療法の臨床診察法——「舌診（ぜっしん）」

（一）舌診と推拿療法

1. 理論基礎

- ①中医学理論に基づきます。
- ②弁証論治を基本規則とします。
- ③全体の状態を把握します。

2. 臨床応用

- ①施療前の診察
- ②施療後の確認

（二）舌診の内容

1. 観察の内容

- ①観察の部位（舌質、舌苔、舌下脈絡）
- ②観察の項目（神・色・形・態）

2. 判断の内容

- ①表裏
- ②虚実
- ③寒熱
- ④進退

二、推拿健康法——便秘の改善と予防

1. 支溝穴・天枢穴——指按揉法
2. 腹部——指推法・掌摩法

三、眩暈症の改善における推拿療法の応用

（一）弁証（診断）

1. 症状
 - ①眩暈 眩と暈
 - ②随伴症状（頭痛、嘔吐、吐き気、発汗 など）
2. 診察
 - ①望診（神、形、態、色）
 - ②按診（圧痛、触覚）
 - ③問診（本人の感覚、病程など）

④脈診、舌診

3. 分析帰納 ①病位の確定
②軽重の分類
③病因の確定
④正邪盛衰の判別
⑤病性寒熱の弁別

4. 弁証のまとめ

肝陽上亢 眩暈、頭痛頭脹、耳鳴り、顔面紅潮、怒りやすい、精神不安、不眠、夢多い、
口苦い 舌紅苔黄、脈弦

痰濁内阻 眩暈、頭重、胸悶、悪心、飲食減少、多眠 舌淡苔白膩 脈滑濡

瘀血阻絡 眩暈、頭痛或いは頸肩張り、痛い、首が回転すると眩暈が酷くする。
舌暗瘀斑 舌下脈太い 脈細

気血虧虚 眩暈、動くと眩暈感じが増悪、顔色蒼白、唇や爪の色が白い、疲労感、精神不振、
言少 舌淡苔白 脈細弱

腎精不足 眩暈、精神不振、健忘、腰膝酸軟、耳鳴り、遺精、不妊 舌紅苔少 脈沈細弱

(二) 施治 (治療)

1. 治療原則 (治法) 「補虚祛邪・通調気血⇒止眩暈」

- 頭部： 経絡疎通・行気活血
- 全身： 肝脾腎調和・清熱祛湿

2. 処方

①経脈 督脈 任脈 手足の三陽経 心経 心包経 腎経 脾経 肝経

②腧穴 ■頭部腧穴 印堂 百会 太陽 頭維 率谷 風池

■弁証配穴 [肝陽上亢] 太谿 太衝 行間 湧泉

[痰濁内阻] 中脘 足三里 豊隆 内関

[気血虧虚] 気海 血海 足三里 中脘 脾兪 胃兪

[腎精不足] 気海 関元 太谿 腎兪 命門

③手技 一指禅法 揉法 按压法 按揉法 推法 擦法 摩法 抹法 搓法
拿法 捏法

3. 施療 仰臥位 ①額部 推法、抹法、按压法/按揉法 (腧穴)

②目の周辺 抹法/一指禅

③頭頂部 推法、按压法/按揉法 (腧穴)

④後頭部 按压法/按揉法（腧穴）

⑤後頸部 按揉法、推法

⑥上肢部 按揉法/一指禅（腧穴）

⑦胸腹部 按压法/按揉法（腧穴）

⑧下肢部 按压法/按揉法（腧穴）

座位で ⑨後頸、肩部 推法・拿捏法

⑩背腰部 按揉法/一指禅（腧穴）、推法・擦法・搓法

四、推拿療法の基本手技の復習（その3）

滾法 按/压法（掌） 推法・擦法・抹法（掌） 拍法（掌） 振法（掌）

五、推拿練功の紹介——「少林内功・順水推舟（じゅん すい すい しゅう）」